



2023年 1月13日 金曜日
(令和5年)

知・技の創造

ものづくり大学発

▷86◁

「久保君、これからの建築手法改正では、これから建築物はデザインや構造だけではなく、省エネルギーを考えなければ建設することができなくなる時代がやってくるよ」。これは筆者が大学の元明治大学建築学科・加治屋亮一教授が述べられた言葉です。

当時の私は、エネルギーについて何しろ、というくらいに認識でピンと来ていませんでしたが、現に、令和4年6月17日に公布された建築物省エネ法

「久保君、これからの建築物はデザインや構造だけではなく、省エネルギーを考えなければ建設することができなくなる時代がやってくるよ」。これは筆者が大学の元明治大学建築学科・加治屋亮一教授が述べられた言葉です。

当時の私は、エネルギーについて何しろ、というくらいに認識でピンと来ていませんでしたが、現に、令和4年6月17日に公布された建築物省エネ法

省エネからウェルネスへ

久保隆太郎 建設学科准教授・博士



くほ・りゅうたろう 明治大学大学院博士後期課程修了。日建設計総合研究所主任研究員を経て、2018年より現職。専門は建築設備、エネルギーマネジメント。博士(工学)

進。そして、③ワーカーの長いリフレッシュコーナーの入り、ワーカーの生産性を高めるための多くの施設や設備が導入されています。言ってみれば、三つ目のワーカーの長時間労働の解消は、単に長時間労働を減らすだけではなく、ワーカーの労働生産性を高め、援機能(オフィス内や敷地内、スポーツ施設がある、運動

一方で、2019年4月に、施行された働き方改革関連法案は、一億総活躍社会を実現するための改革であり、労働力不足解消のために、①非正規社員と正社員との格差を正し、高年齢者の積極的な就労促進

後のシャワールームの充実等)を有することで、ワーカーの健康性を維持、向上させることが期待できます。近年建築されるオフィスに入居するワーカーの充実度を高める必要があります。現在私は建築設備業界や不動産業界と連携して、環境不動産環境を考慮した不動産の経済的便益について研究を行っています。250件を超えるオフィスを対象に、そのオフィスの環境性能を点数付けし、その点数と建物の価値に影響を及ぼすと考えられる不動産賃料の関係について分析しています。最新の研究